

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年10月9日

【四半期会計期間】 第119期第3四半期(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

【会社名】 川口化学工業株式会社

【英訳名】 Kawaguchi Chemical Industry Co., Ltd

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 山田 吉隆

【本店の所在の場所】 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
(同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は、下記で行っております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 本社事務所 埼玉県川口市領家4丁目6番42号

【電話番号】 048(222)5171

【事務連絡者氏名】 常務取締役 荻野 幹雄

【縦覧に供する場所】 川口化学工業株式会社本社事務所
(埼玉県川口市領家4丁目6番42号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第118期 第3四半期 連結累計期間	第119期 第3四半期 連結累計期間	第118期
会計期間	自 2018年12月1日 至 2019年8月31日	自 2019年12月1日 至 2020年8月31日	自 2018年12月1日 至 2019年11月30日
売上高 (千円)	5,525,552	4,776,981	7,488,074
経常利益 (千円)	70,203	45,966	187,351
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	42,313	33,776	146,715
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	24,566	27,521	137,999
純資産額 (千円)	1,835,312	1,939,729	1,948,744
総資産額 (千円)	7,286,607	7,326,187	7,285,099
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.75	27.74	120.48
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	25.2	26.5	26.7

回次	第118期 第3四半期 連結会計期間	第119期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益又は1株 当たり四半期純損失 (円)	17.97	24.06

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないために記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大が今後長期化した場合には、当社グループの事業活動及び収益確保に影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、2020年に入り新型コロナウイルス感染症拡大により、世界全域にわたり経済活動が制限されるなど、大きな影響を受けたことから、8月に入り一部回復の兆しはみられるものの、厳しい市場状況となりました。

国内経済も、当社グループに関係の深い自動車産業において、自動車生産並びに販売台数が昨年比で大幅に減少しました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、急速に悪化した国内外の市場における需要変動への対応を、全社を挙げて行うとともに、需要の高まっている受託合成品ならびに品質・技術に優位性を持つ医療用・医薬用製品の製造販売に注力しました。

一方、供給体制の維持のため、全部門において新型コロナウイルス感染症への対策を行いました。生産活動においては、急激な需要の減少により、当第3四半期に入り過剰感のある製品について生産調整を実施するとともに、需要の高い製品への積極的対応を製造・販売・開発のそれぞれの部門で徹底して進めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は47億76百万円（前年同期比13.5%減）、営業利益は52百万円（同29.7%減）、経常利益は45百万円（同34.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33百万円（同20.2%減）となりました。

セグメント業績の業況は次のとおりであります。

化学工業薬品事業

売上高は47億48百万円（同13.6%減）、セグメント利益（営業利益）は29百万円（同43.0%減）となりました。

不動産賃貸事業

売上高は28百万円（同0.7%増）、セグメント利益（営業利益）は22百万円（同0.8%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

< ゴム薬品 >

ゴム薬品の分野は、国内向けの工業用品向け薬品は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内自動車販売並びに生産が減少したことにより、売上は前年同期を大幅に下回りました。国内では、工業用品生産量が前年比で減少した影響を受け、医療用途において販売増となったものの、工業用品向けは前年同期の売上を下回りました。タイヤ向け薬品は、海外品との競合が継続したことで減産影響による顧客の需要減により、売上は前年同期を下回りました。合成ゴム向け薬品は、国内合成ゴム生産が全般に低調に推移したことから、全体では売上が前年同期を下回りました。海外向けは、東南アジア各国において新型コロナウイルス感染症拡大による影響を大きく受けたことから、各国の経済状況が大幅に悪化し、自動車生産並びに販売が減少した影響から、売上は前年同期を大きく下回りました。

この結果、ゴム薬品部門合計の売上高は26億7百万円（前年同期比20.9%減）となりました。

< 樹脂薬品 >

樹脂薬品の分野は、国内向けは、主要顧客であるアクリル酸・アクリル酸エステルが生産が低調で推移しました。当社の主要製品もこの影響を受け販売が低調で推移しましたが、特殊品の販売が伸びた結果、売上は前年同期を上回りました。海外向けは、特殊用途向けにおいて販売が伸びた製品もありましたが、主力製品において需要が低迷したうえ、現地での海外品との販売競争が激しくなり、売上は前年同期を下回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上高は5億19百万円（同20.5%減）となりました。

<中間体>

中間体部門は、界面活性剤中間体は、当第3四半期に入り主要品目で販売減となり売上は前年同期を下回りました。染料中間体は、関連誘導製品の生産減により売上は前年同期を下回りました。農薬中間体は、主要品目において販売が復調した結果、売上は前年同期を上回りました。医薬中間体は、主力品の販売が医薬用顧客需要の拡大で増加し、受託生産品の受注が獲得できなかった影響はありましたが、売上は前年同期を上回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は6億99百万円（同13.9%増）となりました。

<その他>

その他分野は、環境用薬剤は、新規受注を獲得したことにより、生産活動の低下が原因で主要製品の需要が低調で推移したものの売上は前年同期を上回りました。潤滑油向けは、市場での需要変化に対応し販売増となった結果、売上が前年同期を上回りました。新規用途向けは、受託生産品と既存品において、積極的な市場開発活動を行った結果、新製品の販売拡大と併せて既存品の新規需要獲得により販売増加したものの、一部の生産受託品の売上が前年同期を下回ったため、売上が前年同期を下回りました。

この結果、この部門合計の売上高は9億21百万円（同1.4%減）となりました。

(2)財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては73億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が7億30百万円、たな卸資産が1億51百万円増加したことに対し、受取手形及び売掛金が8億40百万円減少したことによりです。

負債につきましては53億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円増加いたしました。これは主に借入金が5億51百万円、未払消費税等が48百万円増加したことに対し、支払手形及び買掛金が4億4百万円、流動負債その他のうちの未払費用が1億47百万円減少したことによりです。

純資産につきましては19億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に、その他の包括利益累計額が6百万円減少したことによりです。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は168,095千円（前年同四半期は166,240千円）であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

(資金の借入に関する契約)

当社は、2020年7月3日開催の取締役会において、新型コロナウイルス感染症の影響による安定資金の確保のために必要な資金の借入について決議を行い、短期及び長期借入れによる資金調達を以下の通り実行しております。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」をご参照下さい。

(1)借入先	株式会社三菱UFJ銀行	株式会社りそな銀行
(2)借入金額	200,000千円	240,000千円
(3)利率	基準金利 + スプレッド、固定金利	固定金利
(4)借入日	2020年7月31日	2020年9月1日
(5)返済期日	2021年1月29日、2023年7月31日	2028年8月31日
(6)担保等の有無	無担保・無保証	無担保・無保証

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	1,220,000	1,220,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100株であります。
計	1,220,000	1,220,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日		1,220,000		610,000		58,437

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,200		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,214,700	12,147	同上
単元未満株式	普通株式 3,100		同上
発行済株式総数	1,220,000		
総株主の議決権		12,147	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式17株が含まれております。

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 川口化学工業株式会社	東京都千代田区内神田2 丁目8番4号	2,200		2,200	0.2
計		2,200		2,200	0.2

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、海南監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	397,320	1,127,504
受取手形及び売掛金	2,686,283	1,845,464
商品及び製品	887,515	953,728
仕掛品	355,755	391,746
原材料及び貯蔵品	304,236	353,587
その他	25,323	26,034
貸倒引当金	4,566	3,137
流動資産合計	4,651,868	4,694,928
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1,208,030	1,207,725
その他(純額)	1,190,978	1,201,468
有形固定資産合計	2,399,009	2,409,193
無形固定資産		
その他	21,426	16,474
無形固定資産合計	21,426	16,474
投資その他の資産		
その他	214,968	207,865
貸倒引当金	2,174	2,274
投資その他の資産合計	212,794	205,590
固定資産合計	2,633,230	2,631,258
資産合計	7,285,099	7,326,187
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,264,394	859,857
短期借入金	1,960,000	2,460,000
1年内返済予定の長期借入金	50,408	43,340
未払金	306,615	278,454
未払法人税等	22,855	2,181
未払消費税等	-	48,671
賞与引当金	-	39,963
役員賞与引当金	12,000	7,500
その他	246,418	86,005
流動負債合計	3,862,692	3,825,973
固定負債		
長期借入金	903,312	961,640
役員退職慰労引当金	98,248	105,842
退職給付に係る負債	328,215	356,000
その他	143,885	137,001
固定負債合計	1,473,661	1,560,484
負債合計	5,336,354	5,386,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,260,911	1,258,155
自己株式	7,746	7,749
株主資本合計	1,921,603	1,918,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,930	18,625
為替換算調整勘定	3,210	2,260
その他の包括利益累計額合計	27,141	20,886
純資産合計	1,948,744	1,939,729
負債純資産合計	7,285,099	7,326,187

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年8月31日)
売上高	5,525,552	4,776,981
売上原価	4,619,310	3,915,863
売上総利益	906,241	861,117
販売費及び一般管理費	831,905	808,825
営業利益	74,335	52,292
営業外収益		
受取利息	543	419
受取配当金	2,647	2,263
貸倒引当金戻入額	2,129	1,429
受取保険金	2,014	5,836
受取手数料	-	1,000
その他	9,273	5,341
営業外収益合計	16,608	16,289
営業外費用		
支払利息	10,564	12,569
支払補償費	-	5,696
貸倒引当金繰入額	-	100
為替差損	9,200	3,872
その他	976	376
営業外費用合計	20,740	22,614
経常利益	70,203	45,966
特別利益		
国庫補助金等収入	2,710	5,570
特別利益合計	2,710	5,570
特別損失		
固定資産除却損	10,237	3,455
特別損失合計	10,237	3,455
税金等調整前四半期純利益	62,675	48,080
法人税、住民税及び事業税	19,204	17,622
法人税等調整額	1,157	3,318
法人税等合計	20,362	14,303
四半期純利益	42,313	33,776
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,313	33,776

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	42,313	33,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,156	5,305
為替換算調整勘定	8,589	949
その他の包括利益合計	17,746	6,255
四半期包括利益	24,566	27,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,566	27,521
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
新型コロナウイルス感染症拡大による影響について、今後の収束時期等を正確に予測することは困難な状況にあります。 このような状況の中、感染拡大前の水準までに回復するには年内までの期間を要するとの仮定のもと、固定資産の減損、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
受取手形	57,784千円	- 千円
支払手形	9,818千円	- 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
減価償却費	280,552千円	297,772千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年2月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	36,534	30.00	2018年11月30日	2019年2月28日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年2月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	36,533	30.00	2019年11月30日	2020年2月28日

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,497,160	28,392	5,525,552		5,525,552
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	5,497,160	28,392	5,525,552		5,525,552
セグメント利益	51,651	22,684	74,335		74,335

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,748,401	28,579	4,776,981		4,776,981
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	4,748,401	28,579	4,776,981		4,776,981
セグメント利益	29,418	22,873	52,292		52,292

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益	34円75銭	27円74銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	42,313	33,776
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	42,313	33,776
普通株式の期中平均株式数(株)	1,217,808	1,217,783

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(資金の借入)

当社は、今後の新型コロナウイルス感染症の影響による安定資金の確保のため、2020年7月3日開催の取締役会決議に基づいて以下の通り、当該借入の一部を2020年9月1日付にて実行いたしました。

- (1) 資金の用途 新型コロナウイルス感染症の影響による不測の事態に備えた資金
- (2) 借入先の名称 株式会社りそな銀行
- (3) 借入金額 240,000千円
- (4) 借入金利 固定金利(市場金利等を勘案して決定しております。)
- (5) 返済期限 2028年8月31日
- (6) 担保等の有無 無担保・無保証

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月9日

川口化学工業株式会社
取締役会 御中

海南監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 秋 葉 陽 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 古 川 雅 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている川口化学工業株式会社の2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年12月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、川口化学工業株式会社及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

強調事項

重要な後発事象の資金の借入に記載されているとおり、会社は2020年9月1日付で総額240,000千円の借入を実行している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。